

学生コラム

■研究・活動紹介

「走るお店」が支える暮らし

「移動販売」と聞いて何をイメージしますか？ 石焼きいもやクレープ、たい焼きを売る販売車なら時々見かけると思います。近年では、決められた曜日に新鮮な野菜や魚を積んだ車がやって来て、近所で買い物ができる地域が増えています。私は、移動販売車が不可欠な地域でのライフスタイルを研究するため、利用者へのインタビューを行っています。



販売車の停車時間が限られるため、近所の方々と一緒に利用する際、互いに気づいたり、到着時刻を気にしたりする様子が確認されました。

北海道では、農村部の人口減少による店舗の撤退と市街地の高齢化で、移動販売の需要が高まると予想されています。また、図書館やATMの役割を担う移動車が道内各地ですでに活躍しています。課題先進地だからこそ、研究のフィールドとしての魅力を感じます。

将来的には、災害復興地域の生活にマッチしたサービス提供の計画に役立つと考えています。さらに今後、自動運転車が普及すると、お店が走ってや



建築都市空間デザイン専攻
建築計画学研究室

修士課程1年
大伏 玄泰
Haruyasu Obushi

【PROFILE】

- ◎出身地 / 石川県珠州市
- ◎趣味 / 建築見学旅行
- ◎ひとこと / 成長できる環境に身を置き、貪欲に学びの機会を掴んでいきましょう。

建築分野の視点が問われ続けるという認識を持ち、研究に取り組んでいます。

